

シダ

Tree fern / *Cyathea lepifera* / Hikagehego / ヒカゲヘゴ

古代のシダに見えるヒカゲヘゴだが、比較的新しいシダの仲間であり、約 1 億年前から生息する日本最大のシダ植物である。奄美大島と近隣の島々で自生し、細い幹は 10 メートルにもなり、林道の端の様な日当たりのいい湿った地面に生える事が多い。長く、黄緑色の葉は 3 メートルにもなり、幹から四方に伸びる。葉が落ちると楕円形の傷が残り、幹に美しい模様が残ることから学名の *lepifera*（鱗がある植物）が付けられた。

Bird's nest fern / *Asplenium nidus* / Shima-otaniwatari / シマオオタニワタリ

シマオオタニワタリは、岩や樹皮に着生する着生植物である。東アジア原産で、奄美大島では主にスダジイやアマミアラカシの硬い幹から育っているのがよく見られる。長さ 2 メートルほどに成長し、鮮やかな緑の長い葉が中心からアーチ状に生えている。また、葉はカップ状になっていて、溜まった水や落ち葉を分解し、栄養分に変える。